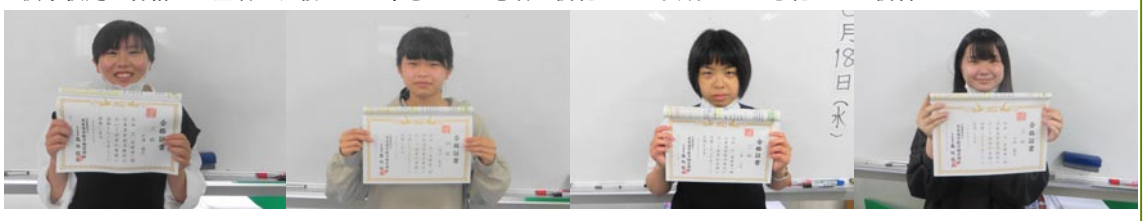
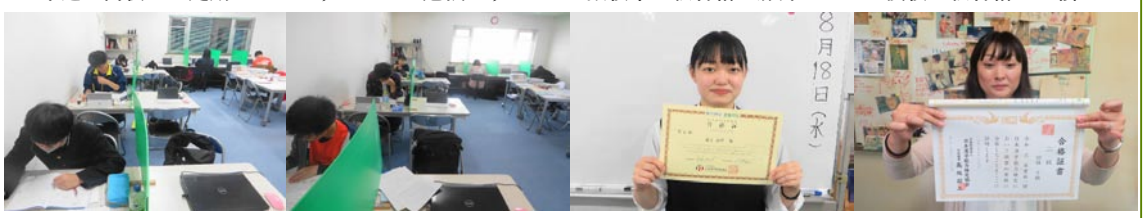
進学通信
ステップゼミナールだより
ホップ・ステップ
September 9
第 179
2021 年 9 月 1 日発行

漢字検定に合格した空君、衣桜さん、梨恋さん、悠君、優花さん、美羽さん、心花さん、優杏さん



8/10、11 の道コンの様子と 12 日の見直し

今週は高校生が定期テストです。テスト勉強です。　数検準 2 級合格の藤井さん　漢検 2 級合格の田積さん



入試まであと

夏休みも終わり、大事な二学期が始まっています。9月は、中学校、高校ともに定期テストがあります。特に中3生は、学校の12月の志望校決定？のためのデータとなる学力A・B・CテストのAテストがあります。

いよいよ受験モードです。

塾では入試までの日数のカウントダウンを始めました。3月3日の、入試まで183日、26週です。1回毎の、テストの点数にこだわることなく、志望校に向けて丁寧に積み重ねることが大事です。

本当の受験勉強は、A・B・Cテストが終わった後の12月から2月までの3ヶ月間です。A・B・Cテストの結果で志望校を諦める必要はありません。

コロナの感染拡大により北海道にも緊急事態宣言が12日までの期限で出ています。釧路地方でも感染が広がっています。学校での生徒の感染が、家族へ感染するケースも出ています。

部活動も停止となってストレスがたまる一方ですが、今は耐えるしかありません。

塾でも常時換気、手洗い、消毒、マスクを着用、札幌方面などへ行って来た人には、様子を見るために3日ほど休んでもらうなど感染防止に細心の注意をしています。

問題なのはコロナ禍が終わった後の、社会の大きな変化です。今までの普通は通用しない時代になります。

釧路市の場合をみても8月に日本製紙が撤退し、釧路の基幹産業はほぼ全滅です。人口も一番多かったときから6万人減っています。

みんなが社会に出るころ、釧路に就職できる企業は無いかもしれません。おそらく地方都市はどこも同じ状態になります。また、企業は学力重視より人物重視になってきています。学力も大事ですが。

安易な高校選択、大学選択は大きく将来に影響します。日本が観光立国を目指したのは大きな失敗でした。何とかなる時代ではありません。**デジタル社会、AI社会を生きていくためにしっかりした目標を持ち努力することです。大丈夫ですか君たちは！**

〝中卒〟からトラック運転手　初当選の女性都議が政治を志した理由

「このままでは死んでしまう」。アルバイトでの生活は苦しく、追い詰められていた。271人が立候補した東京都議選で、初当選した女性が10代後半から20代前半に抱いていた思いだ。いじめが原因で中学2年で不登校に。〝中卒〟の少女は自立を模索し、飲食店からトラック運転手まで職を転々とした。何度も挫折しながら一念発起し、今につながった。武蔵野市選挙区（定数1）で立憲民主党の新米都議になった五十嵐衣里さん（37）。話題を呼んだ女性が政治家を目指した理由とは――。

選挙期間中、武蔵野市民ではない記者のSNS（ネット交流サービス）に、それまで知らなかった、弁護士の五十嵐さんのプロフィルが流れてきた。起伏のある人生に注目が集まり、拡散されたのだろう。都民ファーストの会の現職と、元市長の娘の自民党公認候補らを破って、いわゆる「地盤・看板・カバン」を持たない無名の五十嵐さんが当選した。

いじめ受け、中2で不登校に

「特にNGはないので何でも聞いてください」。取材を快諾してくれた五十嵐さんと武蔵野市内の喫茶店で対面した。芯の強そうな瞳とはっきりとした口調が印象的だった。

人生最初の分岐点は静岡市内に住んでいた中学2年の時。「ポケットベルがはやった時代でした。悪口が送られてきたり、仲間の女子グループに無視されたりしました。私物を隠されるなど繰り返し嫌がらせを受けました。思春期によくあるケースだったとは思います」。そんな日々が嫌になり、学校に行かなくなった。

両親は猛反対した。特に母親は泣きながら、学校に行くよう何度も説得してきた。弟は遠方に住む祖母まで呼び出した。でも、五十嵐さんの意思は揺らがなかった。母親は〝不登校を矯正する〟とうたう民間施設への入所まで提案してきたが、母親に捨てられてしまう、と感じた五十嵐さんは全力で抵抗した。

家に引きこもるわけではなかったが、高校進学もしなかった。「中学生活と同じだろうと思ったからです。つらい思いをしてまで、学校に行く必要はないと今も思います」

だが、文部科学省の学校基本調査によると当時の高校進学率は約97％。「社会が『普通』と決めたレールを一度外れると、生活は厳しいのだと身をもって学びました」。その後の人生は想像だにしない、苦労が待ち受けていた。

★バイト先で突然の解雇

実家暮らしだったが、早く自立したかった。15歳の頃、ファミリーレストランでアルバイトを始めた。仕事は程なくして慣れたが、忘れられない出来事が起こる。17、18歳ごろの冬だ。

「年末年始のシフトにどれぐらい入れるかを巡って店長の意向に添えず、機嫌を損ねてしまいました。『もう明日から来るな』と即刻、クビを言い渡されました」

約2年も働いた勤務先だった。そんな理由で、店長の一言で、アルバイトは一瞬にして退職させられてしまうのかと、驚いた。納得できなかった五十嵐さんは、インターネットで必死に対策を調べた。

たどり着いたのが、労働を巡る相談に応じる労働基準監督署だった。すぐに地元の労基署の相談窓口で事情を話した。「私は未成年でしたが、真剣に話を聞いてくれる相談員さんでした」。そこで教えてもらったのが、労働基準法の「解雇予告手当」だ。

「少なくとも30日前に解雇の予告をしなければならない」との説明や、解雇予告をしない場合は「30日分以上の平均賃金を支払わなければならない」といった規定があることを知った。即時解雇は労基法違反だった。

その後、労基署から勤務先に連絡が入り、五十嵐さんは、解雇予告手当を受け取った。「権利を主張しなければ、予告手当は受け取れなかったのです。

裏面へ続く

■ 9 月の予定 ■

1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	休塾
6	月	
7	火	◆景雲定期（～8）
8	水	
9	木	◆富原定期
10	金	
11	土	
12	日	休塾
13	月	
14	火	
15	水	◆学力Aテスト◆
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	休塾
20	月	敬老の日　休塾
21	火	◆美原定期（～）
22	水	
23	木	秋分の日　休塾
24	金	◆鳥取西定期
25	土	
26	日	休塾
27	月	
28	火	
29	水	◆遠矢定期（～30）
30	木	

緊急事態宣言が出ています。
マスク、手洗い、消毒を！

携帯・スマホ 持ち込み禁止 ！

ストップ 過保護・過干渉 ！

在籍する生徒の所属校
小学校　昭和・愛国・遠矢
中学校　美原・景雲・鳥取・鳥取西・附属・富原・遠矢
高　校　湖陵・江南・北陽・東・工業・高専

発行：ステップゼミナール　088-0617　釧路町北都２－２－１　（TEL）0154-36-4170　HP　http://stepsemi.com/　Mail：stepsemi@gmail.com

法律が身を守る手段になると学びました。ですが当時は、学校に行こうとか資格を取ろうとかいうふうには考えが及びませんでした」

18歳の頃には実家を出て、同じ市内で一人暮らしをしていた。家賃や生活費を稼がなければいけないが、思うように仕事は続かなかった。プロフィルで目を引いた「4トントラックの運転手」は、その頃の職歴だ。

「理由は日当が高かった。ただ、それだけです。運転手になるために、マニュアル車の免許も取りました。アルバイトで自立した生活をするのは本当に大変でした」

静岡大の夜間コースに在学中の五十嵐衣里さん。友人らと勉学に励んでいた＝2009年秋（本人提供）

トラック運転手は早朝、開店前の薬局にトイレットペーパーなど日用品の商品を配達する仕事だった。体力的にきつかった。「荷物の上げ下げで腰痛と膝の痛みがひどくなり、長く続けられませんでした」。クリーニング店の衣服の配送業務などもして職を転々とした。

知識がないと搾取される

周囲の友人らも、同じように非正規雇用が多かった。福利厚生はなく、雇い主の意向で突然解雇されたり、罰金を払わされたりし、仲間内で不満を言い合ったが、なすすべはなかった。「アルバイトは使い捨てで、生活はギリギリ、仕事は続かない。自分の全てに自信がなく、生きづらさを感じる日々でした」

安定を求めて事務職の採用試験を何度も受けたが、採用されなかった。「中卒だからだろうと感じていました。面接官から親の職業など関係のないことを聞かれたこともありました。問題ある家庭に育ったと思われたのでしょうか。悔しかったですね」

その頃に思い出したのが17歳の時に受け取った「解雇予告手当」だ。「法律を知らなければ、自分や周囲の友達を守れないと感じていました。当時は経済的にも精神的にも満たされず、『死んでしまうのではないか』と思うほど追い詰められており、生きるために法律の資格が必要だと考えました」

知識がないと社会に搾取されると痛感していた。20歳の頃、行政書士の資格を取ろうと勉強を始めたが、なかなか合格できなかった。そこで、大学で法律を学ぼうと考えた。そのためには高卒認定資格が必要だと、働きながら予備校に通った。22歳で高卒認定を得た後、静岡大の夜間コースで学んだ。3年生の時に行政書士の資格を取り、大学卒業後は名古屋大法科大学院に入学。卒業後すぐの30歳で司法試験に合格した。

「自己責任」で切り捨てられない社会に

トントン拍子に道が開かれていったようにも見えるが、その頃に忘れられない女性とのエピソードがある。彼女の存在が、政治家としての心構えにもなった。

友人だった年上の女性はシングルマザーで、3人の子供を育てながらキャバクラで働いていた。話を聞いていると、遅刻で高額の罰金を払わされるなど違法だと思うことが度々あった。

「年を重ねたら、働きにくくなるのが夜の世界です。自分と同じように、彼女に『何か資格を取ろうよ。昼の仕事に転職した方が生活が安定するよ』と何度も説得しました。でも、彼女が机に向かうことはありませんでした」

友達ならではの親切心だった。なぜ勉強しないのかと当時は、不思議で仕方がなかった。だが、大学生活を送るうちに自分が環境に恵まれていることに気付く。大学では、幅広い年代の友人ができた。授業で学んだ政治や経済をテーマに夢中になって議論した。そんな友人に囲まれ、刺激を受けたことで視野が広がっていた。「私が得ているものは、私の努力だけではなかったんです」

高卒認定試験を受けるための予備校や大学の授業料などは、衝突がありつつも見守ってくれた家族がサポートしてくれた。そのおかげで友人と切磋琢磨（せっさたくま）しながら勉強することができた。

「人生は生まれた家庭環境などで左右されます。努力だけではどうしようもないこともあるんです。『自己責任』で切り捨てられる世の中であってはおかしいと確信しました」

キャバクラで働いていた友人は子供3人を一生懸命に育てていた。どうやって生活を安定させようかと、悩んでいた。彼女は努力をしない人ではない、と知っていた。でも、机に向かうことはできなかったのだ。

「私は何度も転職し、容姿にもコンプレックスがあり、自信がありませんでした。でも、司法試験を受けるために1日18時間の勉強をする、私はそれができたというだけなのです」。人には得手不得手がある、当たり前のことのようだが、五十嵐さんは時間をかけて実感した。

1回目の挑戦で司法試験は受かったが、弁護士登録はしなかった。「最初から弁護士が私のゴールではありません。資格を取り、生きるための、心の安定を図るためのツールと考えていました」

問題の背景に取り組むのが政治

司法試験の勉強中に感じたことがあった。「法律を覚え、たくさんの判例を勉強しました。ただ、司法は誰かの権利や自由が法的に奪われた後に救済するものです。そのような状況に追い詰められた背景を考えると、親の貧困が子供に連鎖しているというような原因があります。その仕組みを作っているのが『政治』だと気付いたのです」

大学時代に友人らと国内外の政治について語り合ったことも要因にある。弁護士資格を持って、政治の仕事に関わろうと参院議員の政策秘書に就職した。

政治の世界を学んだ後、2020年に弁護士登録。弁護士の「現場」を一度は知りたかったからだ。だが、離婚調停など生活に身近な依頼を受けるうち、問題の背景に取り組む政治に直接関わりたいという気持ちが大きくなっていった。

東京都議選で、当選を確実にして笑顔を見せる五十嵐衣里さん（中央）。右から2人目は菅直人元首相、右端は武蔵野市の松下玲子市長＝東京都武蔵野市で2021年7月4日小出洋平撮影

今回、政策秘書時代の仲間から声が掛かり、都議選への出馬を決意した。

7月4日の都議選投開票日。選挙事務所には両親の姿があった。あの手この手で学校に行かせようとした母親は、実は不登校から約1年後に白旗を揚げていた。「母親は『もう学校に行かなくていいから、毎晩一緒に夕飯を食べましょう』と言ってくれました。世間の目よりも娘の意思を尊重してくれたのだと、心からほっとしたのを覚えています」。その後、母親とのわだかまりは少しずつほどけていったという。

五十嵐さんは言う。「母は政治家としてスタートを切った私を『誇らしい』と褒めてくれています。学校に行かない選択をしたことを認めてくれた母に、今は感謝しています」

学校に行かない子供の支援も

「誰も取り残さない東京へ」など五十嵐さんが掲げる政策は、自らの経験が反映されている。学校に行かない選択をした子供たちへのサポートもその一つだ。「たくさんの大人と関わって、学校や家だけが住む世界じゃないと知ってほしい。生きるための知識、技術をいつでも身につけられるように、学びの場を保障することが必要です」と話す。具体的には、フリースクールや中高大学の夜間クラス、オンライン教育への支援などを挙げる。

経済的に苦しかった経験から、弁護士として生活に関わる依頼を積極的に受けてきた。「コロナ禍で破産したり、離婚したり、貧困に直結する依頼が急増しました。相談事業では若い女性からの『居場所がない』『死にたい』といった深刻な内容が増えています」

コロナ禍の影響はまだまだ続く。今後は政治家として、生活困窮者や子供のいる低所得者世帯、学生などへの生活支援に力を入れたいと言う。

不登校を選択し、心身ともに追い詰められた日々。「あの頃の経験がなければ、政治家を目指していませんでした。苦しい人の声を政治に反映することが、私の使命だと思っています」。すべて、今の自分につながっていると考えている。

毎日新聞 2021/7/31

発達障がいが強み　ニトリ会長の『お、ねだん以上。』な話

ニトリの似鳥昭雄会長＝北村玲奈撮影

「お、ねだん以上。」で知られるニトリホールディングス会長の似鳥昭雄さん（77）は、小学4年生になっても自分の名前を漢字で書けなかったという。営業も接客も整理整頓も全部苦手。それでも、一代で売上高7千億円の企業を築き上げた。実は3年ほど前、発達障害だということが分かったという。苦手を抱えながら、なぜ成功できたのか。

――東証1部上場企業の会長が、発達障害だとは知りませんでした。

注意力が散漫なんです。今でもそうですけどね。人の言っていることをずっと聞けないんですよ。違うことを考えちゃうとかね。

整理整頓もできなくて、机の上は書類だらけ。家は脱いだ服やら、何やらかにやらがそのへんにボンボン投げてあります。なくし物も多くて、身につけるありとあらゆる物をなくします。財布、カード、傘……。子どもを忘れてきたこともあったしね。

カバンを紛失、財布も忘れて…

――カバンに全部詰め込んで持ち歩いたりはしないのですか。

カバンもいくつか持ったんだけどね、カバンそのものを忘れてきちゃうので、どうしようもなくて。

だからもう、ポケットに入れるしかないんです。指定位置を決めていて、胸ポケットには名刺入れとメモパッド、ズボンの右ポケットは血糖値の測定器、左ポケットは常備薬、後ろの左右のポケットにはそれぞれ財布とスマホ。財布は、ほら（びよ～んと伸びるひもでズボンにくくりつけている）。これでも忘れてしまって、引きずって歩いていることもあります。

――スケジュール管理はどうされているのですか。

最近はこれです（A3用紙の両面に、6カ月先までの予定をびっしりと書き込んだものを、六つ折りにして背広の胸ポケットへ）。秘書が毎週、更新してくれる。アイデアは、スマホに音声で吹き込んでおく。何を入れたか、忘れちゃうんですけどね。

――発達障害だとわかったきっかけは？

3年ぐらい前なんですよ。テレビを見ていたら、発達障害の特徴や種類を紹介していて、ああ、そっくりだなと思ったんです。それで、専門の医師に診てもらって、自分でも本や文献を調べて、私は正真正銘の発達障害、ADHD（注意欠如・多動症）なんだということがわかってね。

朝日新聞　聞き手・鈴木彩子 2021年7月5日

中卒から弁護士、発達障がいでも社長です、皆も夢に向かって頑張りましょう！